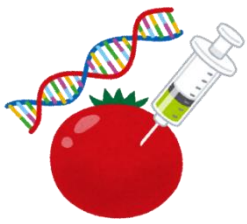


## 新たな遺伝子操作技術



# 「ゲノム編集」とは？

～明らかにになったオフターゲット変異の危険～

いま、バイオテクノロジーの世界は大きく変わろうとしています。研究の中心が遺伝子組み換え技術から「ゲノム編集」技術に変わりつつあります。

「ゲノム編集」技術は、ピンポイントで遺伝子の働きを止める技術です。これにより、すでに多くの作物や動物が改造されています。人間への応用も始まり、受精卵への適用を政府も容認しています。これはまた、従来の遺伝子組み換え技術ではできなかった、遺伝子の入れ換えを可能にします。こまめな遺伝子操作が可能になるため、応用範囲はさらに広がり、暴走することが危惧されます。

新しい遺伝子操作技術「ゲノム編集」とは何か、また、その技術と国内外における現状を、市民の視点でわかりやすく説明していただき、問題点を考えます。ぜひ、参加して下さい。

2017年

**11月13日（月）**  
**10時～12時**



○講 師：**天笠 啓祐さん**

（遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表）

○会 場：**札幌エルフラザ**

**4F 大研修室**（北区北8条西3丁目）

○参加費：**500円**

【主催】食の問題を考える会

構成団体：生活クラブ生活協同組合北海道

NPO法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ 連絡協議会

市民ネットワーク北海道

天笠啓祐（あまがさ けいすけ）

プロフィール：東京生まれ、1970年早大理工学部卒、『技術と人間』誌編集長を経て、現在、ジャーナリスト、市民バイオテクノロジー情報室代表、日本消費者連盟共同代表、遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表、法政大学・立教大学元講師。

主な著書：『遺伝子組み換え食品入門』『遺伝子組み換えとクローン技術100の疑問』他多数

連絡先：TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113（担当：干場）